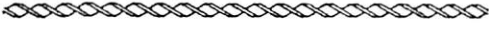
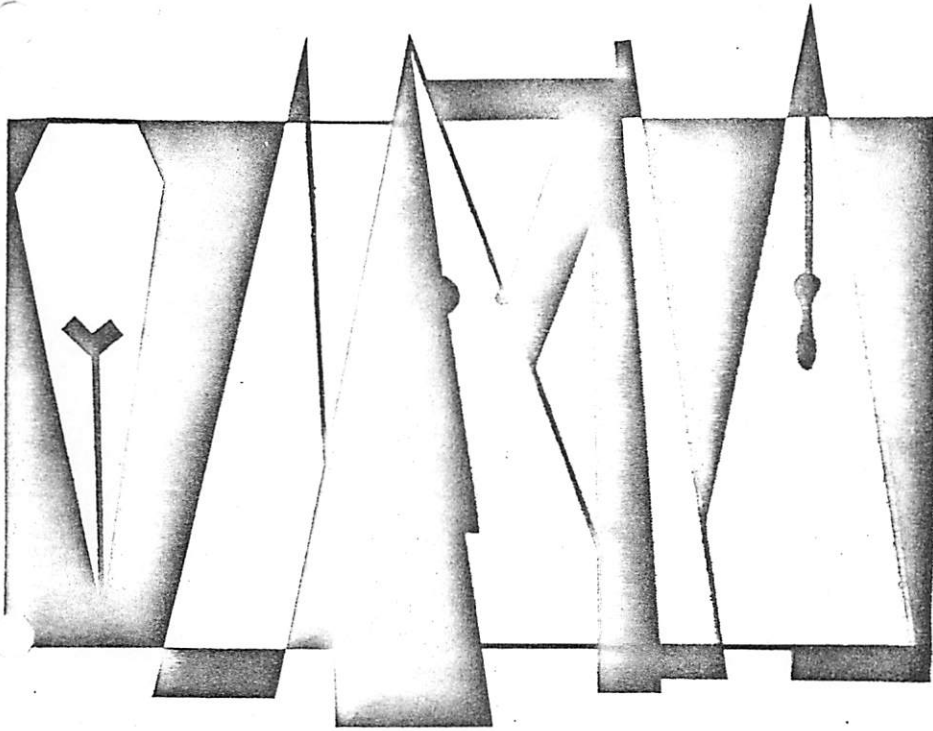


# 会 報



創 刊 号



1

香 川 県 病 院 薬 剂 師 会

1 9 6 4

# 会 長 挨拶

真 田 幸 良

慎重にして熱心な討議の結果、新しい会則が出来上り、愚生が会長という大役に選ばれました。

純粹の学会でもなければ、スター後援会でもない、この会のバックボーンには、やはり、政治性が一貫していなければ魅力あるものにはならないというのが私の考えです。

そのためには、学問的には、今日叫ばれているドラッグ・インフォメーションの奥底を更に究めんとする情熱に充ち、又、時には、メーカーを逆に招待して酒の肴にする楽しい集いが出来る程の経済力を持つことでしょう。そして、日常の実務では、人事的交流と給与体系に干渉出来る程の実力ある会にしたいものです。

全会員の御協力を頼みとするのみであります。

# 理事会報告

10月3日に行われました理事会での決定事項をお知らせします

## I オ2回県病薬会

12月12日(土曜日) 午後4時 高松市内(場所未決定)

会費 800円 (例会に引き続いてオ1回忘年会を開催するに要する費用)

## II 臨時総会

2月初旬

- 議案
1. 会計年度の変更
  2. 代議員の決定
  3. 40年度総会(5月)の講師決定
  4. 例会を年内に何回、いつ行うか。
  5. 宿題報告
    - (イ) 給与、時間外 休暇問題 (理事会)
    - (ロ) 薬局の定員と移動 (理事会)
    - (ハ) 脱脂綿・ガーゼの局方試験 (丸亀労災病院)

III 香薬会報に病診部として活動状況を報告する。(毎月1回)

## 連絡事項

日本病院薬剤師会住所変更

東京都中央区日本橋室町4の1 薬事新報社内

## 会計報告

山田哲夫

オ1回理事会で決定した会費徴収法を会長命令で本年度分は岡内勲弘堂さんの手をわずらわし、又、会員の御協力により早く集金を完了しました。

但し、日病薬会費を納入すれば、残金は1人につき100円ですので、プリント1枚にも通信費にも心を痛めています。出納は正確にしていますが今後の運営資金について諸先生のお力をお待ちしています。

# 香川県病院薬剤師会名簿

## 役員

会長 真田幸良  
 副会長 秋元秀夫  
 理事 総務 森 博直 大西 裕  
           弘 報 恵美善晴 三好昌子 六車智恵子  
           会計 山田哲夫  
           企画 佐藤幸雄

## 会計監査

香川和夫 村松 租

## 会 員

(50音順)

氏 名	勤務先	氏 名	勤務先
秋元秀夫	多度津鉄道病院	菊地典子	吉峰病院
秋山昭美	回生病院	木田智好	滝宮病院
浅原隆雄	国立香川療養所	久保巳代治	高松病院
安藤芳一	多度津鉄道病院	小網泰昭	三豊診療所
伊藤一行	国立高松療養所	河野公恵	栗林病院
伊藤智恵子	県立白鳥病院	合田 暁	三豊総合病院
伊賀恵子	国立高松療養所	近藤忠義	国立香川療養所
岩井美代子	土庄中央病院	三枝祥三	高松赤十字病院
恵美善晴	県立白鳥病院	桜井富士	多田遷病院
大井繁雄	県立丸亀病院	佐藤幸雄	県立中央病院
大井玲子	聖マルチン病院	真田泰子	高松国税局診療所
大西裕	四国鉄道病院	真田幸良	高松赤十字病院
大西富美子	簡易保険局診療所	寒川礼子	栗林病院
大林尾子	高始病院	塩田道太	旭ヶ丘病院
小野武	高松赤十字病院	篠田栄次	高松赤十字病院
小野マズ子	栗林病院	柴野盛枝	屋島総合病院
香川和夫	県立中央病院	荘野 寛	土庄中央病院
樫村秀雄	滝宮病院	鈴木正義	内海病院
神原弘子	香川労災病院	田岡 貫一	香川病院

田 中 静	国立善通寺病院	松 田 美 智 子	四国鉄道病院
竹 島 治 男	大 川 病 院	真 鍋 喜 隆	塩 江 病 院
高 橋 圭 子	県立中央病院	松 原 毅	大島青松園
玉 木 勝	旭ヶ丘病院中央診療所	松 本 康 宏	高松赤十字病院
土 屋 玲 子	坂出市立病院	官 武 孝 造	県立中央病院
豊 田 英 四 郎	直島製錬所病院	○官 西 百 合 子	回 生 病 院
中 島 敏 夫	三豊中央病院	三 好 昌 子	三 宅 病 院
中 村 輝 臣	香川労災病院	村 松 租	四国鉄道病院
仁 木 義 長	専売局高松病院	六 車 智 恵 子	高松赤十字病院
西 原 章 裕	香川労災病院	森 博 直	高松通信病院
納 田 照 夫	栗 林 病 院	森 弘 治	国立善通寺病院
納 田 耀 造	県立津田病院	山 田 哲 夫	高松赤十字病院
乃 村 栄	坂出市立病院	山 根 郁 子	高松通信病院
原 田 四 郎	四国鉄道病院	山 本 京 子	高 松 病 院
藤 沢 和 夫	馬場精神病院	○横 田 正	県立丸亀病院
文 トシ	大島青松園	吉 沢 浩	香川労災病院
⑤ 川 早 智 子	高松赤十字病院	吉 村 俊 郎	大島青松園
逸 見 高 延	"	芳 村 マ サ ヌ	済生会病院
松 井 映 子	国立善通寺病院	吉 田 信 子	高松才一病院
松 平 栄	四国鉄道病院	上 原 陽	県立中央病院
松 島 早 苗	簡易保険局診療所		

## 編 集 後 記

39年も終りに近づき、新しい香川県病院薬剤師会の発足をみました事は非常に有意義な事と思います。この会をたゞ漠然とした会ではなく、お互いに意見や体験等を積極的に話し合い、研究していけば県病薬の発展も輝しいものと信じます。その為にも、この会誌を利用頂きまして、病院間の横のつながりをもつと強固なものにして、力強い会に育てて頂きたいと思ひます。

今回は創刊号としては報告記事のみになりましたが、次号よりは研究発表論文、随筆等内容の充実した会誌をお届け致したいと思ひますので、どしどし御投稿下さいます様に御願ひ致します。

原稿の締切りは毎月5日、宛先は、事務所又は最寄りの弘報係まで、なお会誌に対する御意見御叱責などございましたら御連絡頂けますれば幸甚です。

( T ・ M )